

塾生の声

- 多忙な業務から離れて、今、これから自分が何をすすめたらいいのか考える時間を持てました。ありがとうございました。
- 経験豊富な講師の方々から、実践例や事例をたくさん聴けてとても満足でした。しみるキーワードがたくさんありました。
- 施設や機能・職種ごとでは、たくさんの課題をクリアすることは、不可能だと気づき、共に学んだ塾生の皆さんとも共に支え合いたいです。5日間お世話いただいたスタッフの皆様、ありがとうございました。
- 多職種で様々な意見を聞けて、皆、いろいろ真剣に考えていることを知りました。そんな熱意ある人と一緒に働きたいです。
- 5日間の養成塾に参加し、多くの学びと気づきを得ることができました。
- とても素晴らしい先生ばかりでした。もう少しゆっくり聞いてみたい講座もありました。

令和8年度 健康福祉プランナー 養成塾

募集案内

『保健・医療・福祉』を通して
地域住民が安全で安心して暮らせる
まちづくりを推進する人材を育成!

公益財団法人 地域社会振興財団

問い合わせ先

*ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺3311-160

公益財団法人 地域社会振興財団 総務課研修係

Tel 0285-58-7436

Fax 0285-44-7839

E-mail youseijuku@jichi.ac.jp

URL <https://www.zcssz.or.jp>




健康福祉プランナー養成塾 募集案内

日本の現代社会は超少子高齢社会問題が深刻化し、地域住民のニーズに応じて充実したサービスを提供する地方自治体の責任は、ますます大きくなっています。その流れの中で、住民が待ち望んでいるものは、充実した保健、医療、社会福祉・介護サービス体制です。このサービスを実際に構想・運営し、地域住民が安全で安心して暮らせるまちづくりを推進する人材の育成こそ、あなたの地方自治体が飛躍できるかどうかのカギとなっています。

行政サイドにおいては、保健・医療・福祉についての深い理解と知識、長期計画を構想し、具体化する企画・立案力が必要であり、医師等の専門職サイドにおいては、住民の要望、地方自治体の財政状況等を理解し、行政サイドと協力し連携する調整能力が必要となっています。

当養成塾では、多彩な専門分野の先生方の講義・演習をとおして、こうした時代の要請に対応できる健康福祉プランナーとしての必要な能力獲得を目指した研修を行います。

受講料
無料

期間	令和8年7月15日(水)～7月19日(日)5日間
会場	自治医科大学地域医療情報研修センター (栃木県下野市薬師寺3311-160:自治医科大学内)
対象者	地域医療・保健・福祉に携わり協働する医師・保健師等の専門職員 地方自治体職員等で、地域活性化と保健・医療・福祉事業の推進に関心のある方
開催方法	集合型研修
募集要領	当財団ホームページ (https://www.zcssz.or.jp) の「研修会等のご案内」⇒「健康福祉プランナー養成塾」⇒「参加申込み方法」から申込みフォームに入力のうえ、送信してください。 *登録いただきましたメールアドレスに受付完了メールを送信しますので、メール受信拒否設定をされている方は、@zcssz.or.jpからのメールを受信できるようにしておいてください。なお、この受付完了メールを受信された段階で、交通・宿泊手配をしていただいで問題ございません。
	
応募締切	令和8年6月19日(金)
塾生の決定	応募締切後、塾生を決定し、ご本人ならびに所属団体あてに通知します。
経費	1 受講料、資料代、教材費等の研修に要する費用については、原則として当財団が負担します。 2 お住まいから研修会場までの往復の交通費と宿泊代、研修期間中の飲食代は、参加者の負担となります。

令和8年度 健康福祉プランナー養成塾カリキュラム

7月15日(水)	
13:00～13:20	受付
13:20～13:50	開講式・オリエンテーション
14:00～18:00	①地域共生社会の実現について NPO法人日本医療ソーシャルワーク研究会理事長 村上 須賀子 ②実現に向けてのチャレンジ 西南女学院大学保健福祉学部福祉学科講師 中川 美幸
18:00～19:00	懇親会
7月16日(木)	
9:00～10:20	身寄りのない人の課題と支援 ー医療機関で何が起きているかー JA 愛知厚生連 江南厚生病院 地域連携部 患者支援室室長 兼 広報・渉外特任病院長補佐 野田 智子
10:30～11:50	実態及び要望調査の方法と課題 桜美林大学大学院国際学術研究科客員教授 杉澤 秀博
12:50～14:10	人と人のつながり支援 ー心理臨床の視点からー 自治医科大学医学部心理学教授 佐々木 裕子
14:20～15:40	地域医療の実践 ー例えば在宅医療の視点からー つるかめ診療所所長 鶴岡 優子
15:50～17:10	保健所長としての地域保健の実践経験 元 栃木県保健所参与 大橋 俊子
7月17日(金)	
9:00～10:20	单身社会とまちづくり ー希望のまちプロジェクトの取り組みー NPO法人抱樸理事長 奥田 知志
10:30～11:50	ブレイクスルー思考 創美総合研究所所長 日比野 創
12:50～14:10	実践過程を記録に残す ー記録の意義と活用 国際医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖
14:20～15:40	実践過程を記録に残す ー記録の意義と活用 国際医療福祉大学医療福祉学部 医療福祉・マネジメント学科講師 高石 麗理湖
15:50～17:10	こどもの虐待問題 東京通信大学名誉教授 才村 純
7月18日(土)	
9:00～10:20	みなをつなぐコミュニケーション 株式会社ライフシフト CEO 多摩大学大学院名誉教授 地域医療機能推進機構理事長特任補佐 徳岡 晃一郎
10:30～11:50	みなをつなぐコミュニケーション 株式会社ライフシフト CEO 多摩大学大学院名誉教授 地域医療機能推進機構理事長特任補佐 徳岡 晃一郎
12:50～14:10	地域包括ケアのその後 豊根村診療所所長 丹羽 治男
14:20～15:40	Social inclusion に学ぶまちづくり 社会福祉法人恩賜財団済生会理事長 炭谷 茂
15:50～17:10	障害者が地域で「自分らしく」暮らすために とちぎ障がい者相談支援専門員協会会長 渡辺 純一
7月19日(日)	
9:00～10:20	認知症との共生社会のつくり方 高知県立大学社会福祉学部教授 矢吹 知之
10:30～11:50	うりずんの風に吹かれて 医療的ケア児と家族をめぐる課題と実践 ひばりクリニック院長 特定非営利活動法人うりずん理事長 高橋 昭彦
12:00～12:30	閉講式

*先生方のご都合により、講義の内容が変更になる場合がございます。